

とまこまい

ふるさとの
秋めく空や

日章旗

(静波)

発行 北海道苫小牧市 編集 伊藤一男 印刷 苫小牧民報社

No. 445 毎月1、10、20日発行 (1部5円) 昭和28年6月10日第三種郵便物認可



お花のおけいこ 市営バスの車掌さん

市営バスの車掌さんたちが、非番の時間を利用しての生け花のけいこです。明るい笑い声がへやいっぱいにあふれるうちにも確かな手並みの盛花ができあがって行きます。車掌さんは全部で89人、公務員としての自覚を忘れず、親切第一をモット

ーとして勤務にいそんでいます。明るい希望に胸をふくらませてこのしごとにはいった彼女らは、楽しいことばかりはないけれど、せいいつばいの誠意をつくし、市民のみなさんに喜んでいただきたいと、こもこも話っていました。

とじておきまじょう お役にたちます

出資額、一億八千万円

公共的な企業へ 産業経済、文化の発展に寄与

市民のナマの声をじゅうぶん生かした市政へと10月22日から、10日間にわたり、市内各町単位で市政懇談会が開催されました。

各会場には、市政に関心を持った人たちが集まり、予定の時間をこえる熱心な話し合いが続けられました。

その懇談会の話題から、特に市民のみなさんによくお知らせしたい問題をとりあげ、今回は、民間企業への出資、防犯灯、街路灯、道立高校の誘致などについてお伝えすることにします。



市政懇談会から

公共的な民間企業に出資

市は、公共的な性格を持つ民間企業に出資して、当市の産業経済の発展、地方文化の振興に寄与するとともに企業の育成にもつとめています。

昭和40年10月現在で出資の対象となっている会社は、つぎのとおりで、総出資額は約一億八千万円、そのほか出資金二百六十万円となっています。

◎ 工業用地の造成や売買、並びに石炭の運送や荷役を目的としている 苫小牧港

開発(株)には、当市の発展に大きく貢献していることから、最も多い七千六百万円が出資され、当社資本金の約十五割となっています。

また、この会社には北海道東北開発公庫も出資しています。

◎ 市民の家庭を明るくする北海道電力(株)には約四千四百円が出資されています。

◎ 上屋業・倉庫業および港湾運送業を営む苫小牧埠頭(株)への出資額は二千八百万円となっています。

◎ また、市民の台所で、欠かすことのできないガスを供給する苫小牧ガス会社には一千二百万円の出資が行なわれ、約二八割の出資率(当社の)となっています。

◎ 市の発展にそなえ、土地の先行取得を目的とする(株)苫小牧振興公社への出資額は、九百万円で、当社資本の九〇割となっています。

◎ その他には、苫小牧水産(株)の五百十万円、苫小牧卸売市場の三百三十万円、苫小牧臨港鉄道(株)の三百万円、地方文化の向上に寄与する(株)苫小牧民報社の七十五万円、北海道ソーダ(株)の五十万円、北海道コンサルタント(株)の三十万円、北海道放送(株)・札幌テレビ放送(株)・千歳空港ターミナルビル、それぞれ十万円があります。漁業関係の資金導入を図る北海道漁業基金協会へは二百五十万円が

また、中小企業の資金導入を図る北海道信用保証協会へは十万円が出資金としてそれぞれ出資されています。

※ これらの会社の中には株主への配当を行なっているところもあり、それらの総額約四百七十万円(北海道電力約四百十万円、卸売市場約三十四万円、苫小牧水産約二十四万円その他)が、毎年市の収入となっています。

役員 市から役員を送り、その企業の発展に力をつくしているものには、つぎの企業があります。

苫小牧港開発(株)、(株)苫小牧振興公社、苫小牧埠頭(株)、苫小牧卸売市場(株)等

多いいたずらによる

防犯灯の破損

防犯灯と街路灯の設置については各会場で話題にされましたが、その中には、設置した防犯灯が一部の心ないものいたずらにより、たびたび破損され、せっかくの防犯灯が役に立っていないところもありました。

市ではこういった連絡を受けるとすぐ修理することになっていますが、防犯灯の修理は費用も高く、修理費におおわれる始末で、暗やみでの危険をなくするための防犯灯を、こういったいたずらにより、破損することのないよう、一部心ないものへ強く呼びかけています。

毎年二十灯新設

防犯灯の設置計画

市は昭和38年度から毎年約二十灯ずつ設置していますが、今年度までに設置した防犯灯の数は百灯で維持費は市で負担しており今後も毎年同数ずつ設置していく計画です。

なお、防犯灯はつぎの基準により設置しています。

① 広い道路、公共建て物、公園、野球場、およびグラウンドなどがある、特に照明の必要とみなされるところ。

② 市街地から離れたところにある

道立高校の誘致促進

—— 今後 も 継続 ——

高校誘致が実現したため、市は道立高校誘致に積極的でないのではなないでしょうか。

答え 道教委としては、高校入学志望の全員を対象として道立高校の設置を考えているものではなく、全道の視野に立って、「入学率の低い地域から設置する」方針です。

高校進学希望者の全員を入学させたい希望はこの地区も変わりありません。

どこの地区でも、その意味において私立高校の誘致にも熱心です。

住宅団地などで、その間の距離が相当あって夜間の危険が想定されるところ。

街路灯の設置

に五割の補助

まちをより明るくするための街路灯は、防犯灯とは異なり、地元の人たちの負担で設置、維持されていますが、この設置に際しては当市は他市よりも多い五割の補助(防犯灯を含む)を行ない、数多くの街路灯の設置を奨励しています。

なお、39年度中に支出された防犯灯・街路灯の補助金額は約二百三十万円となっています。



第24回定例

市議会

小池トヨ 氏教育委員に

第二十四回定例 市議会は10月30日

から開かれ、11月6日閉会しました

が、可決されたおもな議案はつぎのとおりです。

▽一般会計予算補正 債務負担行為補正、苦小牧開拓農業協同組合が経営拡充資金として借入する金額(年利八分七厘および延滞利子を含む)に対する損失補償期間、昭和40年度から昭和46年度まで、限度額三千五百万円。

株式会社苦小牧振興公社借入金に対する損失補償期間、株式会社苦小牧振興公社が借入する期間による。限度額五億円

▽教育委員の任命承認 苦小牧市教育委員 富田茂氏の11月21日任期満了に伴う後任者の任命にあたり、市長から同意を求められていた小池トヨ氏の任命に同意を与えました。

小池トヨ氏(五十八歳) 写真 浜町二十二番地は、昭和23年帯



広市から当市に夫君とともに来市以来、社会教育委員、苦小牧家裁

調停委員、図書館協議会委員、公民館運営審議会委員などをつとめ、また、苦小牧短歌会会長としてそ

中学校防火弁論大会

火災予防に協力しよう

一位 和光中 荒地 和枝さん

秋の火災予防運動週間の行事のひとつとして、このほど中学校防火弁論大会が開催されました。

この大会には、市内各中学校から十五名の中学生が参加し、熱弁をふるいましたが、結果はつぎのとおりです。

団体 一位 和光中学校、二位 啓北中学校、三位 弥生中学校 個人 一位 和光中三年 荒地 和枝

二位 東 中二年 大村久美子 三位 啓北中二年 高橋 郁子 四位 和光中二年 大沢 成紀 五位 啓北中三年 榊原 光子 一位 和光中三年 荒地和枝さんの論旨はつぎのとおりです。

煙筒の火の粉を知らせる

習いごとからの帰り道でした。友達と二人で夜道を歩いていてふと一軒の家の煙筒をみると火の粉がとんでいました。その火の粉は風の流れにのってとなりの家の屋根の方に飛んでいるのです。

しかもとなりの家はマサぶきの屋根でした。

『火事になる』そう思い友達と二人でその家へ知らせにいきました。

の道の振興に力をつくすとともに、栄町婦人会会長として婦人活動にも貢献し現在におよんでいます。

その家のおばさんは、びっくりして外に出てみて『知らせてくれてありがとう。早くわかって本当に助かったわ』そういつて私達に礼をいしました。

しばらくして先ほどの家をふり帰つてみると、もう煙筒からは火の粉は見えませんでした。

その夜私は床に入ってから考えてみました。もしもあの時、そのまま見過ごして帰ってきていたら今頃はどんなついでにたろう。そう思うとちよつとしたことなになせか心の中が和んできました。

おろそかにできない マツチ一本 私を生まれてから今日にいたるまで一度も火事にあつたこともなくまた、それを目前にしたこともありません。

しかし火事にあつたことのない私でも、その火がもたらす害はどれ程恐ろしいものであるかはよく知っています。

『防火』ただこの一言でいつてのけるなら単なる火を防ぐということだけに終るでしょう。

でも火を防ぐだけではいけないのです。火はおこしてから防ぐのではなくおこらないように防ぐのです。それには日常生活、学校生活における私達の細心の注意が必要なのです

マツチ一本、ガスひとつ取り扱うにしても私達の年齢では、あおそればこうなる、こうすればああなるというぐらゐの判断力はもっているはずです。

小さなことも、おろそかにしてはならないのです。

原因はストーブ

苦小牧の最近の火災による損害額は、今年に入ってからで約二千二百三十四万円、市民ひとりに割りあてると二百五十七円になります。

火の注意が火災を防ぐ 防火について 火のちをろし 火災防止の心が 防火について 火災防火について



防火弁論大会参加者

建て物の火災だけでも全焼六件、半焼六件、部分焼十四件その他四十四件となっています。

原因はいずれにしても煙筒の残り火・ストーブの不始末・かまどの構造不良などです。『ちょっと』と思つてみのがしたことが大きな火事につながることも少なくありません。

消火には集団の力が必要 最近消防署での行政は、火をださない事、つまり防火構造の家を建てることに重点をおいていると署の方におうかがいしました。

コンクリートの壁に囲まれて、絶対安全をと覚えていてもやはり、ゆだんはきんもつです。予防週間が始まると私はいつも思うのです。『早くこの期間がなくても毎日安心して過ごせるように』と。

なぜなら、期間中だけを注意するといふ誤つた考えを持っている人が多からず。また、いつ、どんな時にあつてもお互いに注意する心がまえがほしいからです。

消火にあつたつては個人の行動よりも集団という、ひとつの大きな力が必要となつてきます。

火事場に集まつた群衆は、ただのやじうまにすぎませんしかし、これらの人びとが互いに関連をもち、協力しあつて消火作業をするということ

法規を守り社会の発展に 市民のひとりである私達は、個人個人が消防関係法規をよく守り、集団の目的が個人の向上と幸福と一致し、社会の進歩発展にもとづくようなことを身につけてゆくことがたいせつです。

今月の納税 国民健康保険税 (四期分) 11月1日から30日までです 納期限内に完納しましょう



※住所や家族に異動があつたら、すぐ届け出を、 また、国保に未加入の方は直ちに申告しましょう

になれば消火という共通の目的によつて大きな働きをします。 防火は火災を防ぐこと、消火は火を消すこと、いずれにせよどちらもたいせつで必要なことです。

何ごにも、こまかい注意を、集団というものの本当の意味での役割り、このふたつをいつても頭においておくことに大きな意味があると私は考えます。

市の発展、また個人の向上のうえにもみんながしっかりと手をつないでゆくではありせんか。



粗悪な電気毛布
にご用心

さいきん、しろうとの作った電気毛布が、おもに行商人をおして安く一般に販売されていますが、この毛布には通産省の型式承認のTマークがついていない、その構造が、はなはだしく不完全なため火事になるおそれ大きいのです。

すぐ、みなさん方の家で使用している電気毛布を調べて、型式承認のTマークのついていない電気毛布は使用しないようにしてください。
(苫小牧市消防本部)

基本選挙人名簿等
をみてください

昭和40年9月15日現在で調製された基本選挙人名簿ができました。この名簿は、11月5日から15日間(11月19日まで)選挙管理委員会事務局(市長公宅二階)でみていただけます。

有権者の方は、登録されているかどうかを確かめてください。この名簿には、昭和40年6月16日以降苫小牧市に移転し住所を定めた人は登録されていません。9月15日現在で、全市いっせいに

国勢調査と同時に選挙資格調査票を提出していただきましたが、選挙人名簿に登録される要件としては、9月15日現在で3か月以上苫小牧に住んでいなければ、基本選挙人名簿に登録されません。

そのような人は、補充選挙人名簿に登録されますから、補充選挙人名簿登録の申し出をしてください。

これは、選挙管理委員会事務局でいつでもできますから、本人か同居の親族の方が印鑑をお持ちの上おいでください。

また、9月15日現在で調製された胆振海区漁業調整委員会委員選挙人名簿もできましたので、同じく11月5日から19日までの間に有権者の方は登録されているかどうかを確かめ

▼市立図書館では、つぎのとおり『図書館、読書に関する標語募集』を行なっていますから奮って応募ください。

▼内容 図書館が市民の読書サービ

あることの認識を高め、その活発な利用を推進するもの、または読書意欲の向上を図る趣旨のものでこれらをやさしく端的に表わしたものを

▼応募資格 当市在住の市民

▼用紙 官製ハガキ一枚三標語まで枚数は制限しない

▼あて先 苫小牧市旭町八の三、市立苫小牧図書館

てください。これに登録される人は苫小牧市に住所が事務所を有し、1年に90日以上漁業を営むか、漁業に従事している人です。

技能競技大会
参加者募集

昭和40年度後期の技能競技大会がつぎのとおり開催されます。

参加希望の方はお申し込みください。

▽競技職種と実施地 ①家具工・建築工・たため工・機械製図工は室蘭市

▽競技等級 一級および二級

▽競技日時と場所 昭和41年1月6日から2月13日までの間に実施、

▽賞 入選一席一名 賞状と記念品

二席一名

三席三名

佳作 十名 記念品

▽審査 図書館運営部会委員、選挙委員会委員

図書館標語募集

図書寄贈運動

▽発表 11月22日(本人に通知)

▽市立図書館では、いま図書寄贈運動を実施中です。

この運動は、みなさん方の書棚の片隅で眠っている図書や雑誌があまりしたなら、一冊でも図書館にご寄贈願ひ広く市民のみならず

午後5時まで(ただし、受け付けは午前11時まで)

▽場所 市公民館

▽顧問 弁護士 山本松男氏

※本紙11月1日号の広報ごよみで11月16日とお知らせしましたが都合により25日に変更になりました

昭和40年度年
末融資実施中

道では、中小企業の年末金融を緩和するため、つぎのとおり年末融資を行なっています。

▽取り扱ひ期間 昭和40年11月1日から同12月25日まで

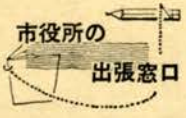
▽融資金額 一企業 二百万円以内 (特認三百万円以内)、一組合三百万円以内 (振貸五百万円以内)

▽融資期間 6か月以内

▽保証料 ①融資金額三十万円以内は日歩二厘五毛②五十万円以内は日歩三厘五毛③五十万円以上は日歩四厘五毛

▽利率 各金融機関の定める利率

▽申し込み先 市内各金融機関



11月の市役所出張窓口は、つぎの日程で開きます。

市税、国民年金保険料、住宅料などを取り扱います。

ただし、神出団地と西山手団地では水道料にかぎり取り扱いません。

また神出団地の国民年金保険料は協力員の庄司勝枝さんに扱っていただきます。

▽24・25日 元町七区会館(矢代町元町、浜町) 西町会館(西町一円) 西弥生児童館(白金町、弥生町、矢代町、西弥生町) 王子山手集会所(山手一円)

▽25日 神出団地、庄司さん方(山手町神出団地一円)

▽29・30日 緑町二区会館(音羽町双葉町、三光町) 緑町三区会館(住吉町、美園町、高丘) 八区総合福祉会館(木場町、緑町、春日町、清水町)

▽29日 野村商店(西山手団地)

※時間は、いずれも午前9時半から午後4時半までです。

母子家庭研修
講演会開催

福祉事務所では、つぎのとおり母子家庭研修講演会を開催します。

母子家庭の方々のお役に立つことも多いかと思われまますので多数お集まりください。

▽日時 11月14日(日) 午後1時から4時まで

▽場所 産業会館二階ホール

▽演題と講師 ①『精神医学から見た子供の養育について』(講師 市家庭児童相談員佐藤玄二氏) ②『中学卒業生の就職問題について』(講師 職業安定所長、佐藤友盛氏) ③『児童のための資金貸し付け制度その他について』(講師 福祉事務所長 蛭子国義氏)

下旬に農業委員会

11月の農業委員会は、下旬に開かれますから関係書類は15日までに農業委員会事務局に提出してください。